

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 6月18日更新

事務事業名		熊本県農業農村振興対策協議会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	事業部	課長名	富加美 尚悟
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	岡本 貴子
	基本事業	33	経営力の強化・生産品の価格安定			所属班	農政班	(内線)	1174
予算科目		会計一般	款 6	項 1	目 8	事業連番 10282	法令根拠	熊本県農業農村振興対策協議会規約	
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
								成果優先度評価結果	: ⑫
								コスト削減優先度評価結果	: ⑥

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	会員相互間(県下市町村)の情報交換・連携をはかり効率的かつ安定的な農業経営の育成と農業及び農村の振興を推進する。昭和37年ごろ設立、現協議会名に至る。県町村会が事務局となっていたため、県下市町村により組織されている。平成の大合併により、組織数が減っている。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	研修会、総会出席事務
【主な予算費目】	なし
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	研修会出席総会出席を予定していたが、研修会等の開催がなかった。	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		全国市町村農業農村振興対策協議会が平成24年1月11日をもって解散されたことから、平成24年度末で熊本県農業農村振興対策協議会も熊本県町村会へ活動を継承し、解散した。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ア: 研修会等出席数		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	職員	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 人
		→ア: 職員数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	農業の現状及び最新情報を入手できる	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) %
		→ア: 新たな知識として入手できた職員の割合
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	22年度実績(決算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	24年度実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア	回	1	0	1	0				
	イ									
②対象指標	ア	人	1	1	1	1				
	イ									
③成果指標	ア	%	100	0	100	0				
	イ									
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円							
	人件費	(A)事業費計	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	1	0	1	1			
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	2	0	2	1				
	(B)人件費計	千円	8	0	8	4				
トータルコスト(A)+(B)		千円	8	0	8	4				

事務事業名	熊本県農業農村振興対策協議会参画事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 平成24年度は、研修会等の開催がなかったため	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 全国市町村農業農村振興対策協議会が平成24年1月11日をもって解散されたことから、平成24年度末で熊本県農業農村振興対策協議会も熊本県町村会へ活動を継承し、解散した。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 平成24年度末で熊本県農業農村振興対策協議会が解散したので、成果向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 平成24年度末で熊本県農業農村振興対策協議会は解散し、熊本県町村会へ活動を継承した。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 負担金等の支出はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 構成組織となっているため、総会出席などの最低限の人件費である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 県下市町村が全部参画している協議会であり参加することは公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 県下市町村が参画しているので適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

全国市町村農業農村振興対策協議会が平成24年1月11日をもって解散されたことから、平成24年度末で熊本県農業農村振興対策協議会も熊本県町村会へ活動を継承し、発展的な解散をした。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					